

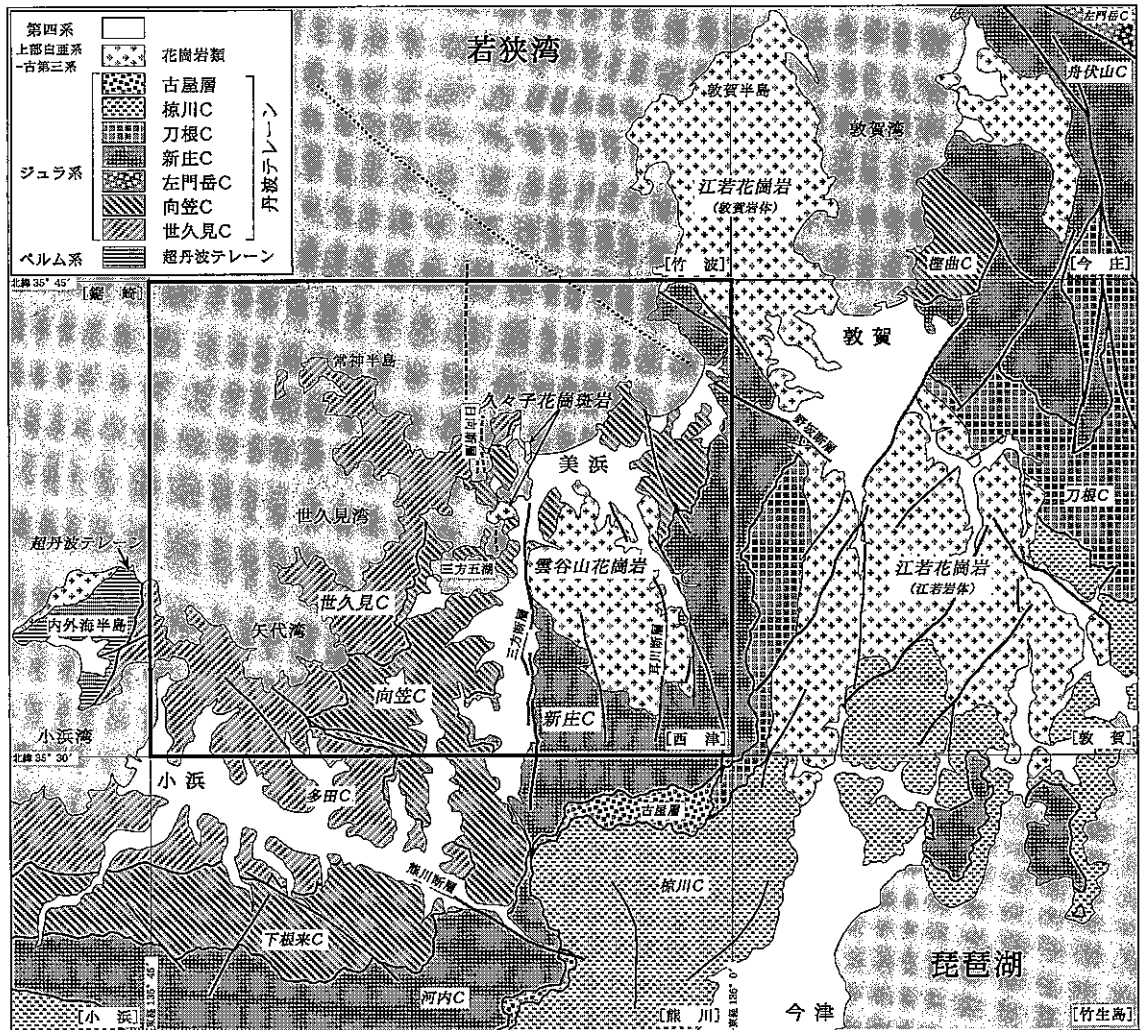
最新地質図の紹介

5万分の1地質図幅「西津」

中江 訓¹⁾・小松原 琢¹⁾・内藤 一樹²⁾

西津^{にしつ}地域は福井県嶺南地方のほぼ中央に位置し、その北側には若狭湾が広がっています。この海岸線は風光明媚なリアス海岸として有名です。また本地域中央部に広がる美方低地には淡水・汽水・

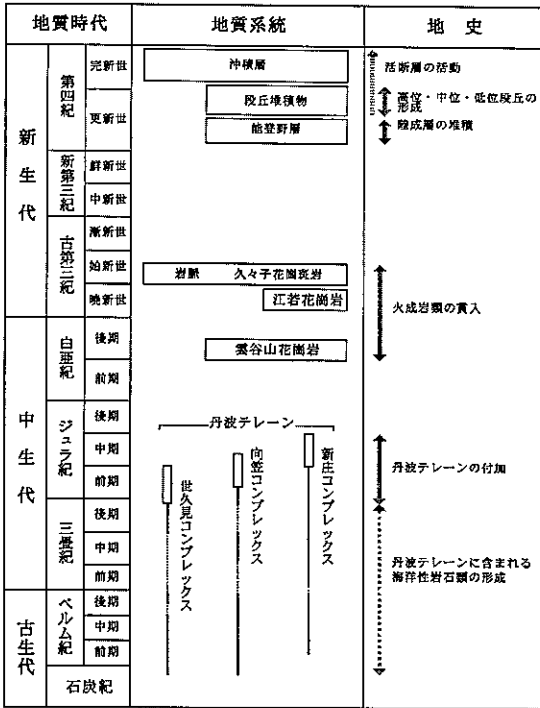
海水と塩分濃度が少しずつ異なる5つの湖-三方五湖-も見られます。地質学的には、西津地域を含む周辺の広い範囲は主に、ジュラ紀付加複合体とこれに貫入する後期白亜紀-古第三紀の火成岩類から



第1図 西津地域の地質概略図。

1) 産総研 地球科学情報研究部門
 2) 産総研 深部地質環境研究センター

キーワード: 5万分の1地質図, 西津, 福井県, 付加複合体, 丹波帯, 雲谷山花崗岩, 段丘堆積物, 活断層



第2図 西津地域の地質総括図。

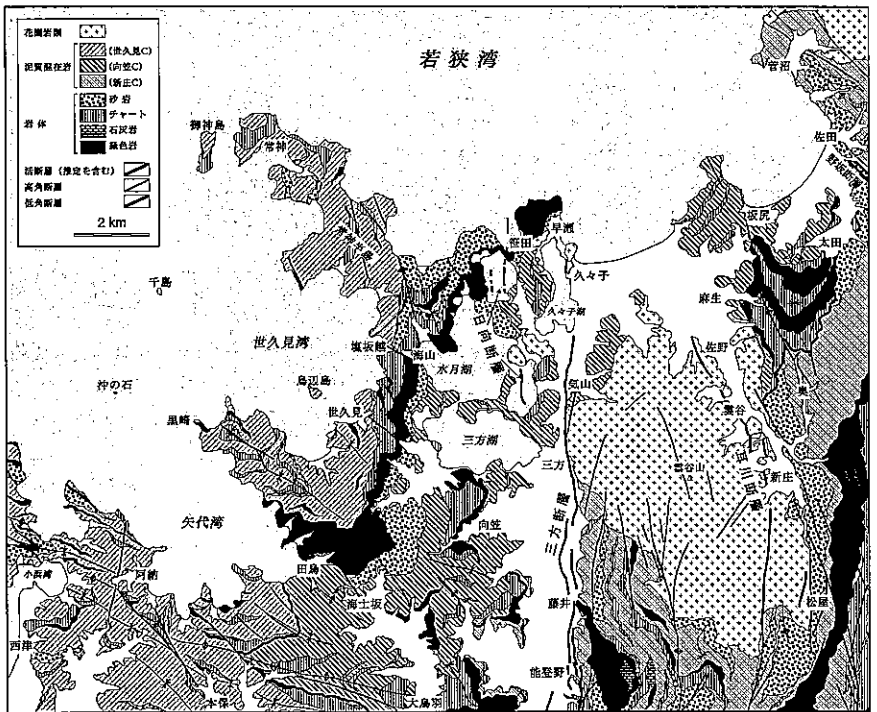
代などの違いにより3つの層序単元-下位より新庄コンプレックス・向笠コンプレックス・世久見コンプレックス-に区分されています。

後期白堊紀から古第三紀の前半にかけては火成岩類が形成され、岩相と放射年代などの違いにより、雲谷山花崗岩(後期白堊紀)、江若花崗岩(古第三紀の前半)、久々子花崗斑岩に区分されています。第四系は、扇状地性の堆積物からなる能登野層(下部-中部更新統)、活断層の近傍に分布する段丘堆積物(中部更新統-完新統)、河川-海成堆積物からなる沖積層(上部更新統-完新統)などに区分できます。さらに西津地域には南北走向及び北西-南東走向の活断層が発達し、東から野坂断層、耳川断層、三方断層、日向断層が知られています。三方断層の活動にともなってその西側の地域が相対的に沈降することで、若狭湾のリアス海岸や三方五湖が形成されたと考えられています。

NAKAE Satoshi, KOMATSUBARA Taku and NAITO Kazuki (2003): Introduction of the "Geology of the Nishizu district".

<受付: 2003年1月30日>

なり、さらにこれらを覆う第四系が分布しています(第1図, 第2図)。西津地域周辺のジュラ紀付加複合体は丹波テレーンと呼ばれ、主にジュラ紀の陸源碎屑岩と、それより時代の古いペルム紀-三疊紀を示す海洋プレート上部を構成していた海洋性岩石類が混合して、形成されたと考えられています。第3図の地質図には、海洋性岩石である緑色岩・石灰岩・チャートと、陸源性碎屑岩である砂岩・泥質混在岩が積み重なった様子が表現されています。本地域では、岩相組合せ・堆積年



第3図 西津地域における丹波テレーンの地質概略図。